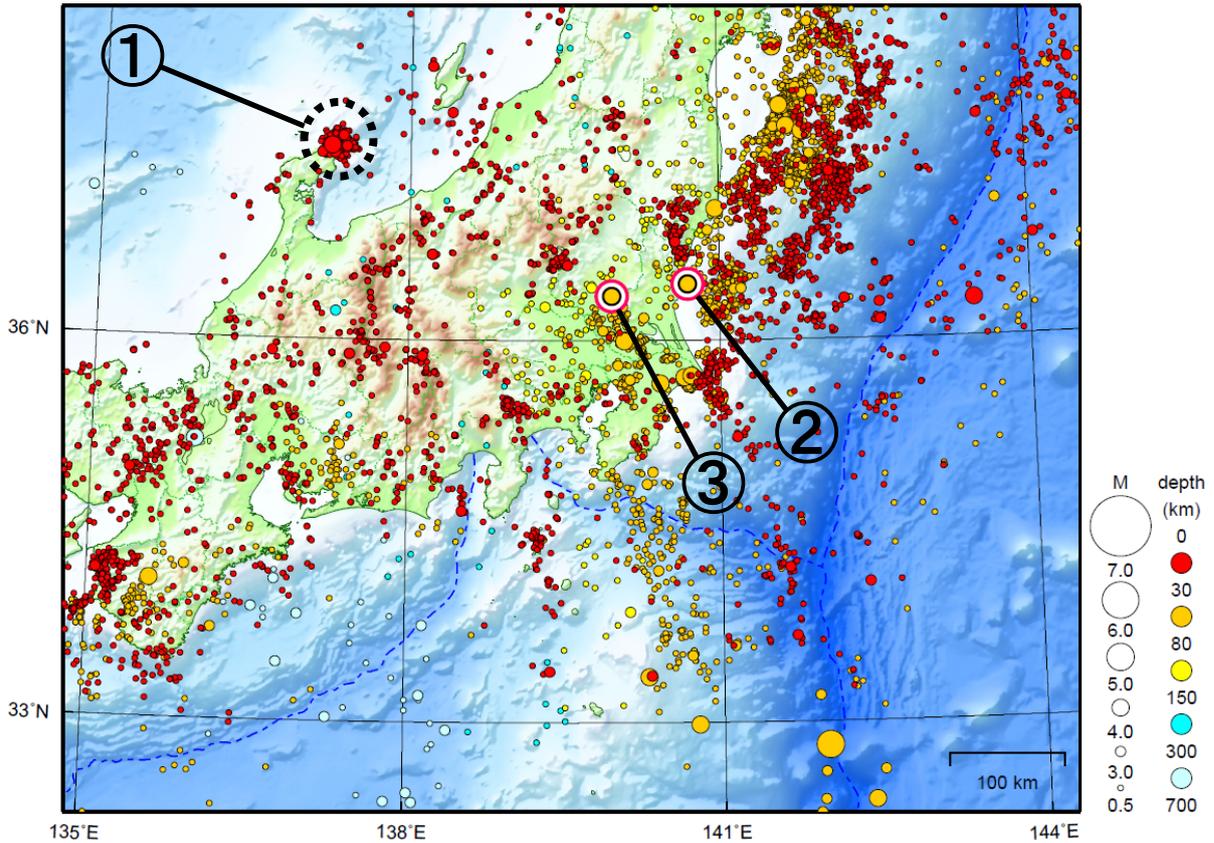


関東・中部地方

2023/07/01 00:00 ~ 2023/07/31 24:00

N=8307



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 石川県能登地方では、7月中に震度1以上を観測した地震が12回（震度3：2回、震度2：3回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、8日に能登半島沖で発生したM4.0の地震（最大震度3）である。

8日の地震で情報発表に用いた震央地名は〔石川県能登地方〕である。

- ② 7月22日に茨城県沖でM4.8の地震（最大震度4）が発生した。
③ 7月29日に茨城県南部でM4.6の地震（最大震度3）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔栃木県南部〕である。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

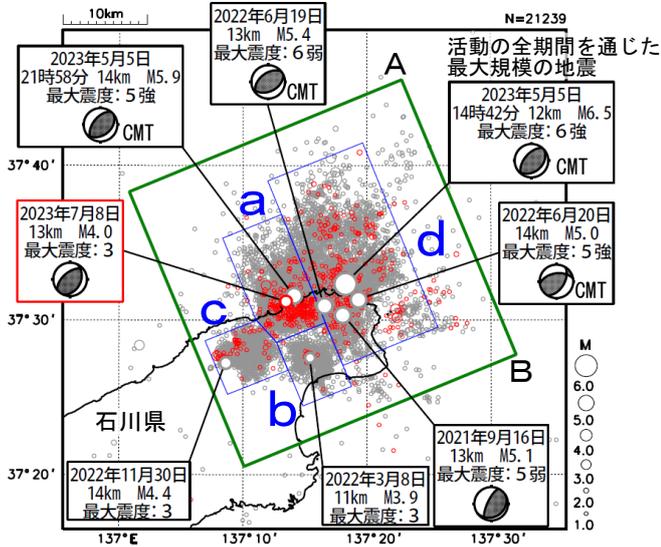
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

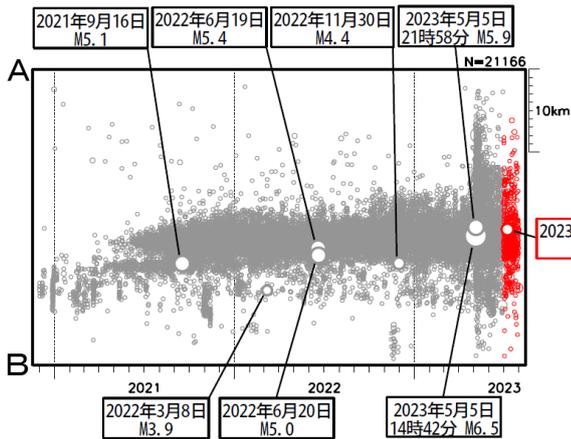
(2020年12月1日～2023年7月31日、
深さ0～25km、M \geq 1.0)

2023年7月の地震を赤色で表示

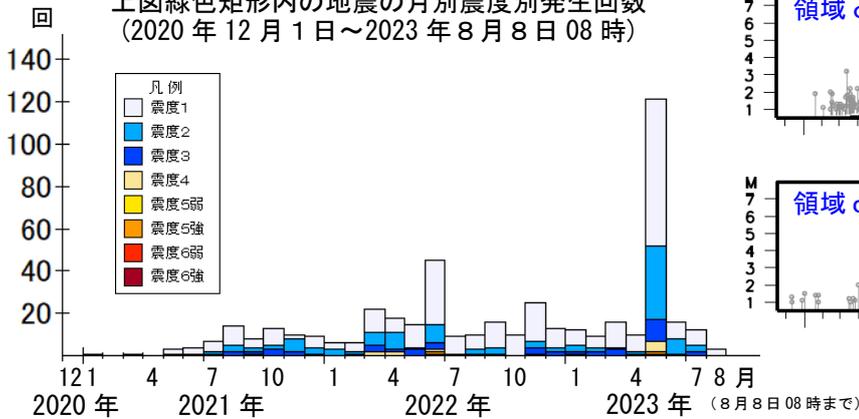
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震及び最大震度5弱以上の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年7月中の最大規模の地震



上図緑色矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



上図緑色矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年8月8日08時)



期間別・震度別の地震発生回数表

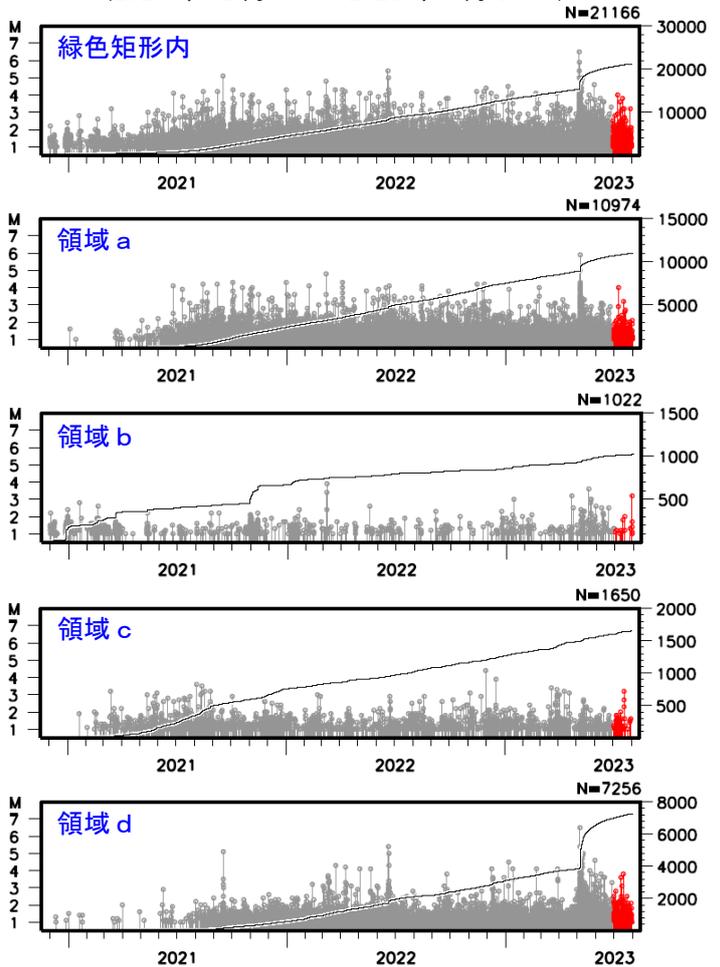
期間	最大震度別回数								計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	
2020年12月1日 ～2023年6月30日	278	107	46	13	1	2	1	1	449
2023年7月1日～31日	7	3	2	0	0	0	0	0	12
2023年8月1日～8日08時	3	0	0	0	0	0	0	0	3
計	288	110	48	13	1	2	1	1	464

石川県能登地方 (震央分布図の緑色矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年7月中も活発な状態が継続している。2023年7月中の最大規模の地震は、8日に能登半島沖で発生したM4.0の地震 (最大震度3) である。なお、活動の全期間を通じた最大規模の地震は、2023年5月5日14時42分に発生したM6.5の地震 (最大震度6強) である。

2023年5月5日にM6.5の地震 (最大震度6強) が発生した後、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少している。

緑色矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図緑色矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年7月31日)

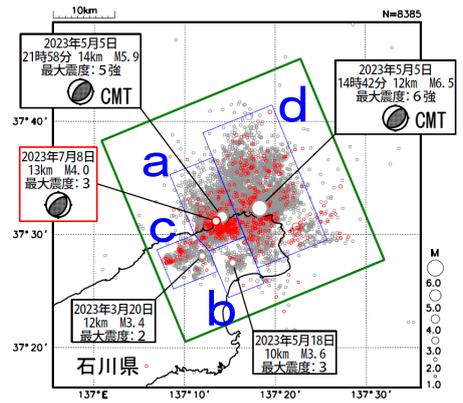


石川県能登地方の地震活動（最近の活動）

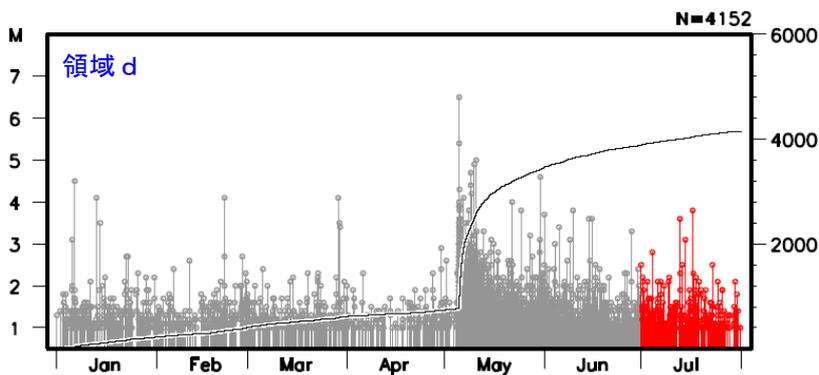
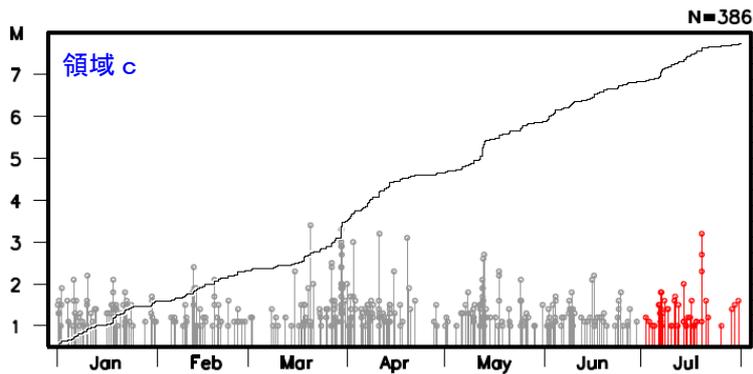
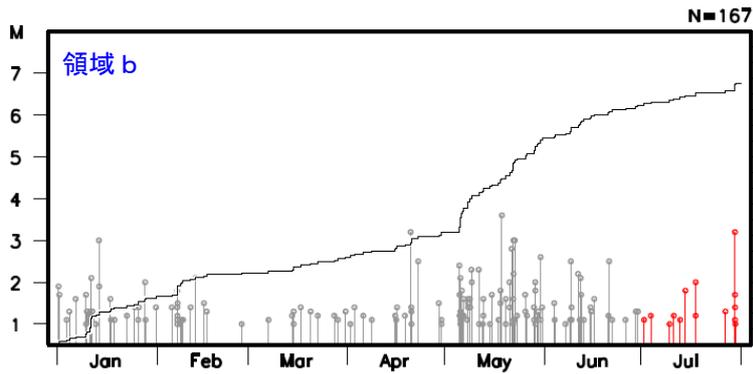
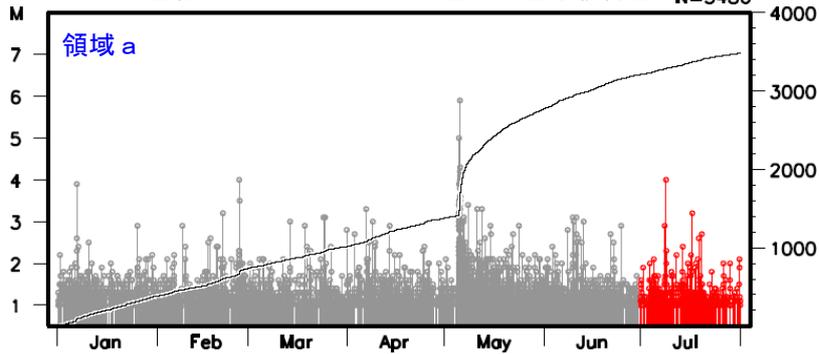
震央分布図
 (2023年1月1日～2023年7月31日、
 深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)

2023年7月の地震を赤色で表示

- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年7月中の最大規模の地震、

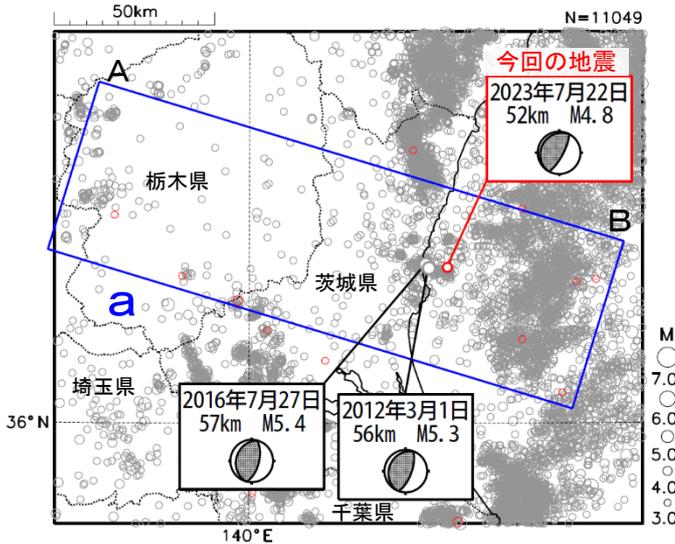


上図領域a～d内のM-T図及び回数積算図 N=3486



7月22日 茨城県沖の地震

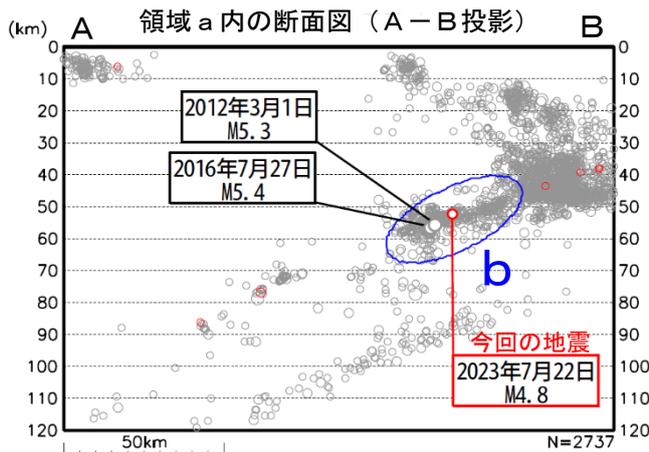
震央分布図
(1997年10月1日～2023年7月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2023年7月の地震を赤色で表示



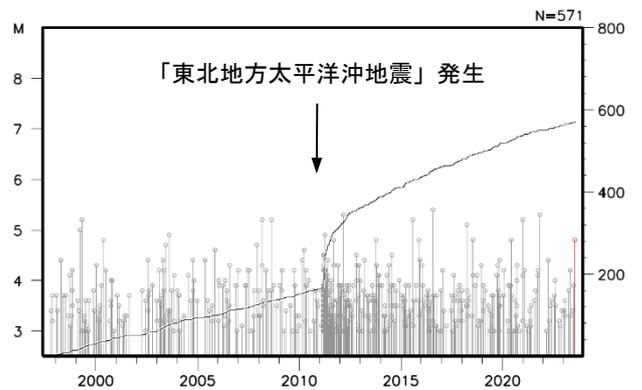
2023年7月22日10時52分に茨城県沖の深さ52kmで $M 4.8$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日には $M 5.3$ の地震 (最大震度5弱)、2016年7月27日には $M 5.4$ の地震 (最大震度5弱) などが発生している。

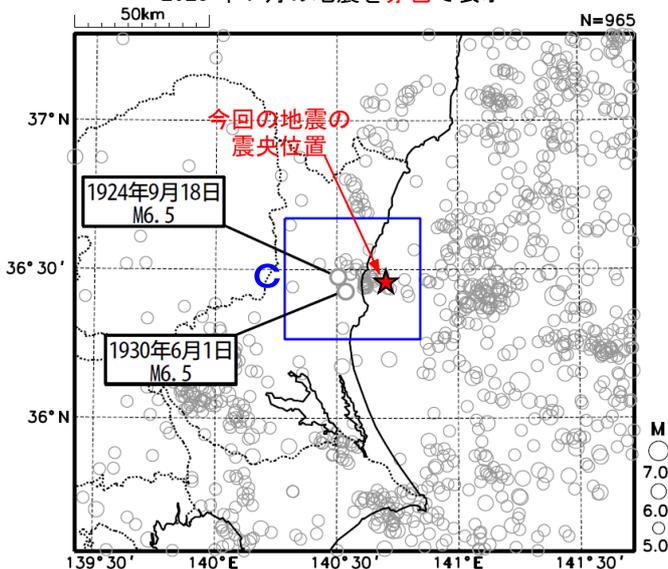
1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生した $M 6.5$ の地震 (最大震度5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。



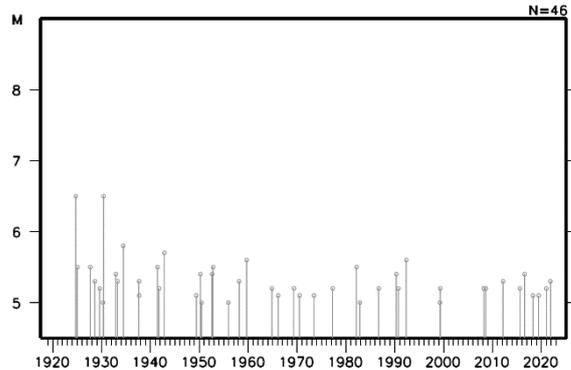
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2023年7月の地震を赤色で表示



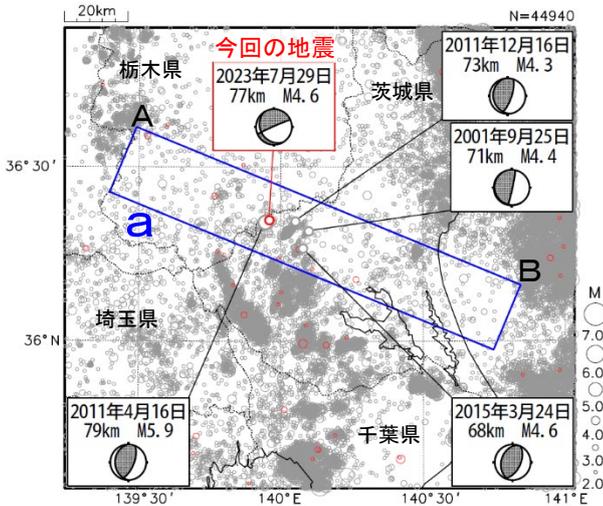
領域c内のM-T図



7月29日 茨城県南部の地震

情報発表に用いた震央地名は「栃木県南部」である。

震央分布図
(1997年10月1日～2023年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2023年7月の地震を赤色で表示

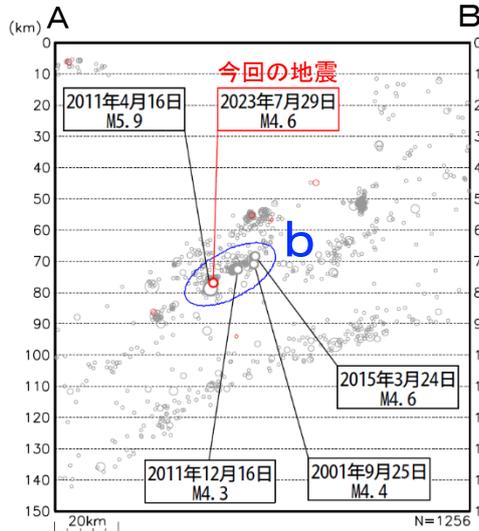


2023年7月29日19時34分に茨城県南部の深さ77kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

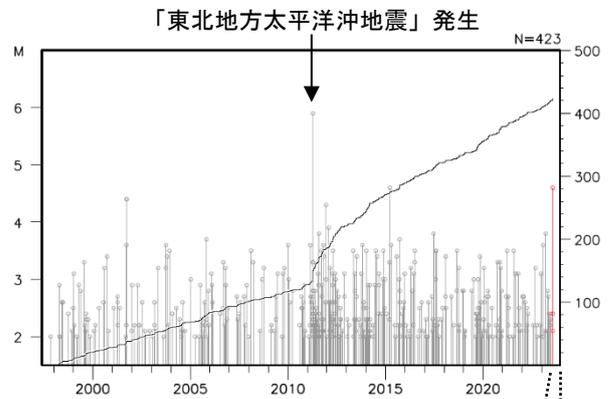
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、地震活動がより活発になっており、2011年4月16日にはM5.9の地震(最大震度5強)が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。1923年1月14日に発生したM6.0の地震(最大震度3)では、負傷者1人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

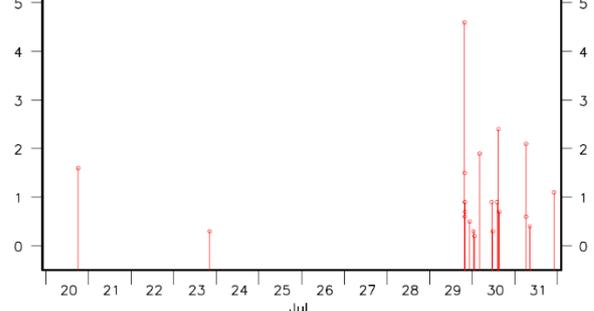
領域a内の断面図 (A-B投影)



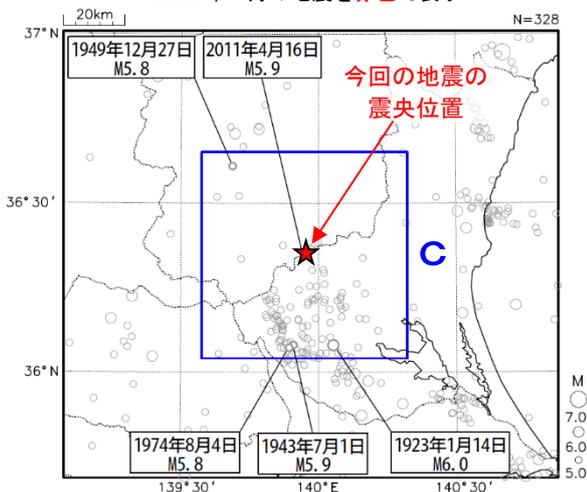
領域b内のM-T図及び回数積算図



(2023年7月20日～31日、Mすべて)



震央分布図
(1919年1月1日～2023年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2023年7月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

